

がん検診・精密検査無料化の対象年齢を拡大します！

年齢とともにがんの罹患リスクが高まる一方で、65歳以降の受診者は減少傾向にあります。がんは早期発見と早期治療が重要であることから、定期的ながん検診を受けるとともに、精密検査が必要な場合には、しっかりと受診することが大切です。これらを踏まえ、多くの方が退職により職場での検診機会がなくなる65歳の方のがん検診を令和6年度から無料としたところ、受診者数が大幅に増加しました。

そこで、今回、66歳から69歳の方のがん検診を無料化し、無料の対象を65歳以上に拡大します。さらながん検診の無料と合わせ、精密検査が必要な方に確実に受診していただくため、精密検査費用の無料化の対象年齢を65歳以上に拡大し、市民の皆様のがんの早期発見・早期治療につなげます。

1 65歳以上の方のがん検診無料化

令和8年4月から、がん検診無料の対象年齢を65歳以上に拡大します。

※70歳以上の方は従来より無料です。

(1) 対象者

令和9年4月1日時点で65歳以上の横浜市民

*令和8年度中に65歳以上になる方

生年月日
昭和37(1962)年4月1日以前にお生まれの方

(2) 対象となるがん検診の費用

がん検診	費用
胃がん検診	2,500円
肺がん検診	680円
大腸がん検診	無料
乳がん検診(女性のみ)	680円
子宮頸がん検診(女性のみ)	1,360円
前立腺がん検診(男性のみ)	1,000円

これらのがん検診

全てを無料に！

*大腸がん検診は40歳以上の横浜市民の皆様が無料で受診できます。

(3) 無料の流れ

医療機関窓口で生年月日の分かる本人確認書類(マイナ保険証等)を提示すれば、無料で受診できます。

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 65歳以上の方のがん検診精密検査無料化

令和7年1月から 70歳以上の方が精密検査を受け医療機関に支払った自己負担額について、償還払いにより助成を行っています(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5種類)。

令和8年4月から、対象年齢を65歳以上に拡大するとともに、新たにPSA検査(前立腺がん検診)を対象に追加します。

(1) 対象者 ①②③すべてを満たす方

- ① 令和8年4月1日以降に、65歳以上の方を対象とした無料の横浜市がん検診(胃・大腸・肺・乳・子宮頸)、PSA検査(前立腺がん検診)を受けた方
- ② 令和8年度中に65歳以上になる方(昭和37年4月1日以前にお生まれの方)
- ③ 横浜市がん検診の結果、要精密検査の判定となった方

(2) 助成対象になる費用

横浜市がん検診を受け、国や横浜市がん検診精度管理委員会などで定める精密検査を受けた場合の医療費の自己負担額

(3) 助成対象になる主な精密検査の費用

検診の種類	精密検査の項目
胃がん	胃内視鏡検査、生検
大腸がん	大腸内視鏡検査、生検、注腸造影検査
肺がん	胸部CT検査、気管支鏡検査、生検
乳がん	マンモグラフィ、乳房超音波検査、針生検
子宮頸がん	コルポスコピー(膣拡大鏡診)、組織診、HPV検査
前立腺がん	PSA再検査、前立腺超音波検査、前立腺MRI検査、生検

注1:助成対象となるのは、がんと診断されるまでに受けた検査です。

注2:各検査項目の助成は、原則1回までです。

(4) 手続き方法

申請に必要な書類を揃え、郵送または電子申請で医療局がん・疾病対策課へ申請

申請に必要な書類

- ・申請書
- ・横浜市がん検診の検診票(コピー)
- ・領収書(コピー)
- ・診療明細書(コピー)

お問合せ先

医療局がん・疾病対策課 担当課長 長澤 昇平 Tel 045-671-4845



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

